

憲法かえずに政治をかえよう！

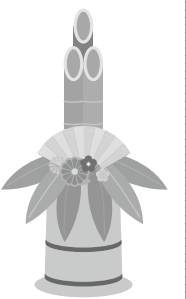
かけはし

社会福祉法人山形虹の会
山形虹の会と福祉を良くする友の会

山形県鶴岡市民田字代家田100-1
TEL 0235-25-1131 FAX 0235-25-0810

介護老人保健施設かけはし 内

二〇二一年新年のご挨拶



社会福祉法人山形虹の会

理事長 橋 健司

新年のスタートに当たり、皆様には年頭のご挨拶を申し上げます。いつも山形虹の会の運営に、友の会の皆様並びに利用者ご家族、地域の皆様方から温かいご支援を頂き深く感謝申し上げます。

昨年は年初から、新型コロナウイルスの感染拡大が、日本国内のみならず全世界的に発生し、いまだ終息の兆しが見えない状況にあります。それが及ぼす暮らし、経済への影響は甚大なものです。幸い昨年は当施設内での発生はありませんでしたが、様々な制限下の施設運営となり、ご不便をおかけしています。一日でも早い終息を願うところです。

今年の前半には、かねてより準備を進めてまいりました新規グループホーム「グループホームかけはし南館」が開設致します。これまで以上に地域の高齢者の方々が安心して暮らしたいという願いに応えてまいります。

山形虹の会は老人保健施設かけはし開設から二五年を経過します。職員一同、安心して住み続けられる地域づくりに一層努力してまいります。本年も宜しくお願いします。

二〇二一年元旦



山形虹の会と福祉を良くする友の会

会長 三浦澄雄

あけましておめでとございます。

生協・医療生協の組合員や地域の民主団体、そして地域の住民の皆さんの力を集めて山形虹の会が作られ今年の四月で四半世紀を迎えることになりました。その後友の会がつくられて二二年になります。

山形虹の会はなくてはならない介護施設として地域に根付き信頼をいただいています。私たち友の会の活動もようやく定着してきたように感じます。ボランティア中心の活動でまだまだ広がりを持っていない感じがしますが、介護施設利用者の皆さんにとっては親しまれる活動になりつつあるのではないかと考えています。

コロナ禍の中にあつては私たち友の会会員同士の心の支えでもあるように思います。参加条件のある方はぜひ仲間になって活動や交流に力をお貸しただければ幸いです。

今後とも友の会へのお力添えをよろしくお願いいたします。

「グループホーム南館」新規開設

今春開設予定の新しいグループホームについてお知らせします。施設は「認知症対応型共同生活介護」と言われているものになります。

グループホームは、自宅と同じようなしつらえをしており、みなでご飯を作ったり、掃除したり、洗濯したり、できないところは職員が一緒にお手伝いします。そんな家庭的な雰囲気の中で自宅と



12月7日地鎮祭 橋理事長による搬入れ

同じような生活を送れるよう支援していきます。定員は二ユニット九名ずつの二ユニット、一八名定員です。利用料金等はまた次回報告させていただきます。

入居者の方は様々な経歴をお持ちだと思います。そこで働く職員もまた介護一筋のプロフェッショナルな方、いろいろな職業を経験されている方、日中だけ働ける方、夜間だけ働ける方、料理の得意な方など、経歴、年齢は問いません。入居者の方と一緒に生活を送る方、またはご紹介いただければと思います。よろしくお願いたします。

グループホーム
開設準備室課長
奥泉ひとみ

2020年10月14日 かけはし秋祭り開催

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のために、法人全体行事の『かけはし祭り』『かけはし利用者忘年会』やレク委員会主催の『スポーツ大会』『文化祭』など全てを中止しました。しかし、法人としては、密にならない対策を講じ、全体行事を開催するため、レク委員会が中心となり検討し、10月14日に『かけはし秋祭り』を開催しました。

内容は、ハッピー姿の職員が神輿を担いで各事業所を回りました。昼食は、振る舞い酒と祭り膳を準備し大変喜ばれました。午後からは、各事業所ごとに、ゲーム等のレクリエーションを楽しむことが出来ました。

利用者さんは、神輿やハッピー姿の担ぎ手を見て、『良く来てくだ』『威勢



威勢良い掛け声とともにデイケアにお神輿が登場 老健介護課長 鈴木 美幸

いいの』と、感極まって涙を流す方や『久しぶりに行事に参加できた』『楽しっけ』と喜びの声を聞くことができました。今までと同じという訳にはいかない状況ですが、換気を徹底しながら、利用者さんに喜んで頂ける行事を考えていきます。

かけ橋

コロナ禍が世界的に広がって一年余りがたちましたがまだまだ不安は解消されません。

昨年の一二月九日、政府の新型コロナウイルス対策分科会の尾身茂会長は、緊急記者会見を開き、「感染が全国的に見ても増加しているのは間違いない。減少要因を早急に強めなければ、いまは『徐々』にだが『急速な』拡大傾向に至る可能性が高い」との緊急提言を訴えました。

その中で、みんな自粛してきた。そういう中で、みんな感染のしやすい場面は分かっているのだけど（行動が伴わないこともある）と「自粛疲れ」による反動で行動を活発化させる人が増えることに理解を示した。と言っていました。

私自身蕎麦屋さんに行つて時々体験しているのですが、七〇代を超える同年代の方が四人席で食事、その後ずーっと会話をしている、結局遅く入って食べ終わった私より長い間お話を花が咲いていました。

なかなか頻繁にお茶のみにも行けない状況が続く今、ストレスの解消の場にもなっているのかなーと思っていました。

G・O・T・O キャンペーンが行われていることを考えるとさらに気を引き締めていかないと、と思います。

隅 爺

相談の窓口から

～介護保険申込みについて～

※介護保険サービス利用の流れ

①申請
市町村の介護保険課担当窓口（鶴岡市は長寿介護課）で申請します。地域包括支援センターや居宅介護支援事業所などに申請を代行してもらうことができます。（かけはしの居宅介護支援事業所でも代行手続きを行っています）

②要介護認定
訪問による調査と主治医の意見書をもとに、審査し判定が行われ、介護度が決定します。介護度は要支援1.2、要介護1～5の7段階となっており、段階により利用できるサービスや月の利用限度額が異なります。

③ケアプラン（居宅サービス計画書）作成
本人・家族の意向や、専門職の助言をふまえ、ケアマネ事業所を決めサービスの利用を計画します。（どのようなサービスをどれくらい利用し、どれくらい費用がかかるか）ケアプランの作成費用は現時点では無料です。

④サービス利用
利用するサービス提供事業所と契約し利用開始します。費用の1割～3割負担が自己負担となります。（負担割合証で確認）

⑤更新手続き
介護認定の有効期間が終了する前に更新の手続きが必要です。
居宅介護支援事業所 管理者 神田 和江

待ち遠しい

移動販売車

十月から毎週金曜日の午後、グループホームかけはし玄関前に切添生協の移動販売車が来ています。野菜や果物、惣菜やお菓子などたくさん積んで楽しい音楽を鳴らしてやって来ます。

普段買い物に行けない入居者様が、自分の欲しい物をゆっくり選び、食べたい物や日用品を買っています。「あど何日で来る？」「今日は何曜日？」「何時に来る？」と首を長くして楽しみに待っています。入居者様同士でも「今日は買い過ぎないでね」と声を掛け合い大笑い。移動販売車が来ると職員



毎週金曜日が晴天であります様に……。グループホームかけはし 副主任 長谷川愛子



レジ待ちしています♪



ホーム前でお買いもの

2020自治体キャラバンに参加

十一月二十日、自治体キャラバンに参加しました。このとりくみは、全国の社保協（*1）が毎年行っており、地域社保協が、周辺自治体を訪問し、社会保障に関する施策（医療・福祉・介護・子育て・生活保護・くらしなど）に関するものや国の制度に対する各自自治体の考え方を交渉懇談することでも明らかにします。また、先進自治体のとりくみを紹介し、当該自治体でもとりくむように働きかけてい

く地域の状況を伝え、より良い制度に



山形虹の会からは、老健入所中に要支援認定を受けた方（*2）の退所先探しに苦慮した事例を報告し、軽度者を受け入れる施設不足について伝えました。直ぐに解決できないこともありますが、市民や専門職の訴えに耳を傾けることができ行政であってほしい

このとりくみを通して感じたことは、当事者の発言（現場職員含む）がいかに重要かということ。これからの皆さんと一緒に伝えていければと思います。



三川町での交渉の様子

当地区では、鶴岡市、三川町、庄内町に加盟団体から職員、患者・利用者ご本人及びご家族が約百人参加して行われてきました。しかし、新型コロナウイルスの影響で今年は、運営委員と発言者に絞り延三十一人が参加しました。当日は、要請書について市町長からの文書回答を基に交渉、懇談を実施しました。

*1：社保協とは一九五八年に日本の社会保障制度の改善をめざして、労働組合、医療、福祉関係の諸団体、地域の民主体など組織が集まって結成されたものです。現在、四十七都道府県すべてに都道府県社保協があり、市区町村を基礎にして組織している地域社保協も二五〇を超えています。鶴岡には、「社会保

ショートステイからこんにちは!!



正面の門に入って右側の二階建ての建物がショートステイかけはしになります。

ショートステイは、自宅で生活されている要支援・要介護状態の方が短期間宿泊し、日常生活の支援を受けられる施設です。ご利用者の方の交流や休息、介護者の方の外出や介護から離れてのリフレッシュなどを目的としてご利用できます。

ショートステイかけはしの特徴としては、個室に近い環境で、ゆったりとお過ごしいただけます。お部屋代は1日あたり885円です。尚、他に利用料金がかかります。朝の体操や昼食前の口の体操にも力を入れて、身体機能の維持に努めています。

ご家族の方が「介護にちょっと疲れたなあ…」と思ったら、ぜひショートステイを利用してみませんか。いつでもご相談ください。介護福祉士11名、介護職員2名、



看護職員2名、生活相談員1名、介護アシスタント1名で、多くの方のご利用をお待ちしております。

ショートステイ管理者 柴田 優子

新規グループホーム開設のため職員募集中

- ①正職員 看護師・准看護師
- ②正職員 介護福祉士・ヘルパー2級or初任者研修修了
- ③正職員 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
- ④日勤のみ 介護職員（資格不問）パート可
- ⑤特養ホーム夜勤専門員 20:00～6:00 1回9,100円×月4回＝36,400円
- ⑥グループホーム夜勤専門員 19:15～7:45 1回8,000円×月10回＝80,000円

社会福祉法人山形虹の会
かけはし

問合せ 鶴岡市民田字代家田100番1 TEL0235-25-1131 担当/原田
<https://niji-kakehashi.or.jp/>

お知らせ

友の会市 介護老人保健施設 かけはし1階会議室

1月18日(月) 第3月曜日
2月1日(月) 第1月曜日
午前10時～午後1時

※新型コロナウイルスの感染状況によっては中止致します。

介護に関する不安悩みは かけはしへ お寄せください。
相談員・ケアマネジャーが相談に応じます
0235-25-1131